



令和4年度 兵庫県立上野ヶ原特別支援学校グランドデザイン

学校教育目標

一人一人の児童生徒の持てる力を引き出す

社会的自立と自己実現を目指す

すこやかな体と豊かな心を育てる

新しい時代に必要となる 資質・能力の三つの柱

学びを人生や社会に生かそうとする
「学びに向かう力・人間性」の涵養

生きて働く
「知識・技能」
の習得

未来の状況にも対応できる
「思考力・判断力・
表現力等」の育成

兵庫県の基本理念

兵庫が育むところ豊かで自立する人づくり
—「未来への道を切り拓く力」の育成—

センター的機能の充実

病弱教育部門（全県）及び知的障害
教育部門（三田市内、西宮市北部）

- 教育相談
電話相談、来校相談、巡回相談
- 理解・啓発に関する研修等
- 地域支援
ITコーディネーターと連携 等

心のバリアフリーの推進

- ・地域社会との交流や様々な体験活動にチャレンジすることを通して、自らの社会性を培う。
- ・地域社会の人々の特別支援教育に対する理解を深め、病弱・虚弱教育及び知的障害教育の啓発を図る。

感染症予防対策

- ・「学校の新しい生活様式」に基づき、新型コロナウイルス感染症等の予防対策を徹底する。

教育方針

児童生徒一人一人の障害の実態や特性に応じて、意欲的に生きる力を養い、社会的自立に向けて、個々の教育的ニーズに応じた指導と支援を行う。

<小学部目標>

健康で友達と協力して、楽しく生活する児童を育てる。

<中学部目標>

仲間とともに、いきいきと集団で活動する生徒を育てる。

<高等部目標>

人とのつながりを大切にし、社会的自立を目指し自己実現できる生徒を育てる。

<訪問学級目標>

学校生活や家庭・病院内での生活を充実させ、児童生徒の笑顔が輝く教育活動を展開し、将来を見通した児童生徒の「生きる力」の獲得を図る。

本校

ひかりの森
分教室

さくら
訪問学級

総合リハビリテーション
センター訪問学級

兵庫中央病院
訪問学級・
在宅訪問学級

重
点
目
標

アセスメントの積極的な活用と保護者とのより確実な連携

学部を超えた情報共有と連携

新型コロナウイルス感染症対策を含めた安全管理の徹底

兵庫県特別支援教育第三次推進計画

兵庫県がめざす特別支援教育

- すべての子どもが認め合い、安心して学べる環境
- 幼児児童生徒に応じた合理的配慮の提供
- 切れ目ない一貫した支援

- 連続性のある多様な学びの場における教育の充実（縦の連携）
- 連携による切れ目ない一貫した相談・支援体制の充実（横の連携）

福祉・医療等 関係機関との連携

- ・本人・保護者の願いを中心に据えた適切な支援を行うため、福祉機関等と効果的な支援を共有する。
- ・医療的ケアを必要とする児童生徒のニーズに応えるため指導医、主治医等との連携の充実を図る。等

家庭・地域社会

- ・保護者や地域住民の特別支援教育に関する理解が深まるよう、積極的な情報共有を行う。等

自立と社会参加を見 据えたキャリア教育

- ・地域の関係機関と連携しながら、職場見学、現場実習等の体験的活動の充実を図る。
- ・生徒の就労意欲を高め、企業等への就職を促進するため、外部人材の参画を進める。等

学校の教育目標の達成に向けて教職員が一丸となり、日々、組織的・計画的に展開する教育活動に、『人の心をひきつけるものがある』魅力ある学校